

# 図書館が伝える地域情報 ～吉田初三郎画鳥瞰図と在りし日の桑名～

三重県 桑名市立中央図書館

## 基本データ

所在地	三重県桑名市中央町 3丁目79
職員数	31.5人
うち司書数	23人
蔵書数	373,985冊
利用登録者数	97,465人
年間貸出冊数	733,699冊
(児童用図書貸出数 144,182冊)	

## テーマ・活動のねらい等

【テーマ】その他

【活動のねらい】

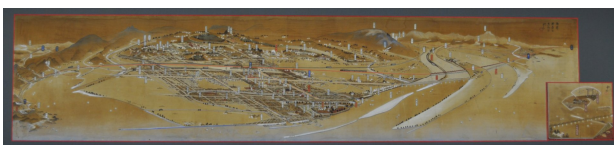
- 図書館の地域資料を通じて市民の皆さんが郷土に誇りを感じ、愛着を持つことができるよう、“地域資料を光らせる”取り組みとして実施
- 市民提供の資料を新たな学びの地域資料に変換することで、市民とともに事業の成果を実感する
- 資料調査や提供、聞き取り等には、市民や関係部署、各種団体など地域の皆さんと協働で行い、図書館が地域の情報拠点として認識され、地域全体で情報を育くむ取り組みとなるよう意識して実施した

## 取組・活動の概要

### (1) 地域資料の積極的な継続収集

【地域の貴重資料の発見とその活用】

- 当館は開館（平成16年）以来、「桑名の昭和時代の記憶の風化を防ぐ」ことを目的に桑名市の昭和時代に関する資料（古写真・紙資料・聞き取りなど）を地域資料として積極的に収集・整理を行っている。
- 収集した地域資料は、定期展示や関係機関への貸出など有効活用し、市民に公開している。
- 平成28年、図書館の地域資料収集活動調査において鳥瞰図絵師吉田初三郎が描いた戦前の桑名の風景を俯瞰する鳥瞰図「西桑名」の原画（昭和9年制作、縦43cm×横194cm、絹本彩色）が市内で見つかり、当館へ寄贈された。
- 当市は戦災によって戦前のまち並みや資料の多くが焼失している。発見された鳥瞰図原画は、桑名空襲（昭和20年）や伊勢湾台風（昭和34年）など、昭和時代の惨禍を潜り抜け、当時の桑名の発展とその活気溢れる様子を現代に伝えてくれており、戦前の桑名を俯瞰することができる有益な資料であった。



名勝西桑名鳥瞰図原画

### (2) 歴史を俯瞰的に学べる図書館編集資料の発行

- 失われた当時のまち並みを視覚的に復元し桑名の歴史を俯瞰的に学ぶことができる資料を図書館独自で作成・発行。
- 当時のまち並みを一望する鳥瞰図の特徴を生かし、鳥瞰図と図書館がこれまでに収集してきた古写真や聞き取り調査などの情報とをつなぎあわせ、地域の歴史を学ぶことに役立つ資料を市民との協働で作成した。

【地域資料編集・発行に関連する取り組み】

- ①【集う】郷土史家による、桑名の昭和史をテーマにした歴史講演会



歴史講演会

「鳥瞰図『西桑名』に描かれた在りし日の桑名」

- ②【魅（見）せる】市民から提供を受けた昭和時代の古写真と地域資料を活用した展示

③【交わる】古写真を介した世代間交流による  
オーラルヒストリー収集（聞き取り調査）



学生による聞き取り調査

④【学ぶ】鳥瞰図と、収集してきた古写真・聞き取りなどを再編し、郷土の歴史を学ぶ際に役立つことができる図書館編集の地域資料の発行



冊子『図書館が伝える地域情報 鳥瞰図「西桑名」と在りし日の桑名』（平成30年3月発行、執筆・編集は郷土史家および市図書館職員）

取組・活動の工夫や特徴

- 収集資料の中には既存の図書の情報を補う古写真や紙資料などがあり、調べ物や郷土学習に役立つことが期待できるものが多いが、点在する資料をうまくつなぎ合わさないと、情報を適切に得ることができない。
- 発見された鳥瞰図は目で見て楽しむことができ、歴史を分かりやすく伝えてくれる。この特徴を生かし、これまで集めてきた地域資料（古写真・聞き取りなど）とつなぎあわせ、若い世代が地域の歴史を学ぶ際に役立つ新たな地域資料を「生み出す」という視点で、市民との協働で資料を作成した。

- 点在する地域資料を学びやすい形につなぎ合わせる、不足する情報は図書館が調査・聞き取りに行くなど、図書館自らが地域の学びに役立つ形を模索し、手に取りやすい形に変えて情報発信を行った。

【継続的な取り組みの成果として】

- 当館では、桑名の昭和時代に関する資料を積極的に収集しており、その多くが市民の提供によるものである。
- 資料における聞き取りや情報の裏付けには、専門家をはじめ市民の協力を得て検証を行い、さらには定期的な資料展示（公開）や事業としての活用を行うことで、図書館の地域資料が市民参加によって充実していくことを実感してもらうことができ、地域資料保存への意識が育まれている。
- 図書館が地域の情報拠点であり、資料集積の場であることを知ってもらうため、当該事業にいたるまでに、収集だけでなく公開活動等によって資料の活用を「見える化」する取組や情報発信を積極的に行った。

取組・活動の成果や今後の展望

- 市民や関係機関との協働による継続的な資料収集と公開活動を礎とし、図書館編集資料の発行に至った。その成果物の発行により、市民参加によって図書館地域資料の充実が図られていること、その意識が育まれている。
- 当該事業の成果物は生涯学習の現場や、子どもたちの調べ学習等学びの場で役立てられている。今後も、地域資料が世代間交流のツールとして活用される場面が創出されることに期待し、多様な地域情報を、学びやすい形に変えた資料の編集・発行を計画していく。